

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

10/1  
平成29年(2017年)  
No.2212

すぎなみの保育、  
見据える先は将来。

「子育て」と「仕事」を両立させたい。  
この思いに応えるために、区はかつてない規模で保育施設の整備を進め、保育の質のさらなる向上も目指しています。しかし、それに伴い、保育サービスに必要な費用が右肩上がり続けているのも現実です。  
すぎなみの保育の今、そして、今後の行政運営という観点から、将来を見据えた保育サービスのあり方について考えます。

仕事も。子育ても。



特集

# 将来を見据えた 保育サービスのあり方

Contents — 主な記事 —

6 | 区民意見を募集します 8 | 高円寺フェス2017 9 | 連載「区立施設の再編を考える」 16 | マイナポータルと情報連携の運用開始

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

# 将来を見据えた保育サービスのあり方

区は28年度に1年かけて待機児童解消に向けた緊急対策を行った結果、29年4月には待機児童を大幅に減らすことができました。しかし同時に、今後も増加が予測される保育所への入所希望にお応えしていくための課題も見えてきました。

今号では、区が現在行っている待機児童解消に向けた取り組みの進捗状況をご紹介しますとともに、区全体の行政運営という観点から、将来を見据えた保育サービスのあり方について、区のお考えをお伝えします。



## 今年度、こんなことに取り組んでいます

課題 1・2 について

### 認可保育所の着実な整備



30年4月 18施設 (開設予定)

28年度に策定した実行計画に基づく整備を前倒しして、他の地域より保育施設が少ない区東部地域を中心に、30年4月開設に向けて、私立認可保育所18施設1370名分の定員を確保します。

〈区東部地域の整備予定〉		
地域	施設数	定員(予定)
高円寺地域	4カ所	220名
方南・和泉地域	4カ所	359名
和田地域	3カ所	220名



### 事業者による保育士の確保をバックアップします

保育施設を整備するだけでなく、保育の「担い手」を確保することも重要です。保育士の確保を事業者任せにせず、区もさまざまな支援を行います。



#### ●リーフレット

「すぎなみでほいくのおしごと!」  
区の魅力や新規開設園の案内、区内で働く先輩保育士のメッセージなどを紹介しています(保育課〈区役所東棟3階〉で配布しているほか、区ホームページでもご覧いただけます)。



#### ●区内共通商品券5万円分の支給を検討

29年4月に区内の保育施設に新規採用された保育士に対して、区内共通商品券5万円分を支給しました。新生活を応援するため、30年4月の新規採用予定の保育士にも同様に商品券の支給を検討しています。

#### ●保育のおしごと就職相談・面接会

採用担当者と直接話したり、分からないことを聞いたりすることができます。詳細は、「広報すぎなみ」11月1日号をご覧ください。

■11月19日(日)午後1時～4時 ■セッション杉並 (梅里1-22-32)

## ここで 保育にばかり ギモン! お金をかけていて大丈夫なの?

### 「持続可能な行政運営」という視点を忘れません!

増加する保育ニーズへの対応として保育定員の確保を進めてきた結果、22年度に約67億円だった保育所の運営や施設整備にかかる経費(※1)は、28年度には約203億円と、ほぼ3倍に。しかも、今後も保育ニーズはさらに高まると予測されており、このままでは他の行政サービスへの影響も出かねません。この状況を受けて区では、現在の区の保育事業全体が、効率性や公平性、有効性といった視点からどのように評価できるかについて、公認会計士による個別外部監査(※2)を受けました。その監査結果などを踏まえて、区では保育事業の運営をより効率的に行う方法と保護者負担(保育料)の見直しに向けた検討を行ってきました。

※1.区保育課所管分の経費。  
※2.区の組織には属さない外部の専門家(公認会計士、弁護士など)による監査制度。

### 区立保育所の民営化を進めます

現在、区内には100カ所を超える認可保育所がありますが、そのうち区立の保育所には国や都からの補助金がないため、園児1人当たりにかかるコストは、私立の保育所の2倍となっています。

区では、今後も増加が見込まれる保育需要に対応するためには、区立保育所の民営化を進めていく必要があると判断し、30年度から36年度までの7カ年で8カ所の民営化を計画しました。今後は、区立保育所の中から地域の拠点施設(区内7地域に各2カ所程度)を指定し、私立保育所を含む区全体の保育の質の維持・向上を図っていきます。

### 保育料の見直しを検討しています

認可保育所の保育料は9年度以降大きな見直しを行っておらず、認可保育所の運営経費に対する保護者負担の割合は11.6%(27年度)にとどまっています。23区の平均(12.9%)よりも低くなっています。こうしたことから、応能負担、応益負担の考え方に基いた適正な負担となるよう、30年4月に向けて、保育料の体系を0歳、1・2歳、3歳以上の3区分に見直すほか、生活保護世帯などを除く全世帯を対象に1割から3割程度引き上げを基本に検討しています(ただし、一部世帯への負担軽減の継続や激変緩和のための措置も併せて検討中)。

## 緊急対策で浮かび上がった4つの課題

1 認可保育所を核とした整備をさらに進めます

2 地域別の保育需要に対応します

3 保育の質を確保します

4 育児休業制度の利用促進など仕事と子育ての両立の支援に取り組みます

これらの取り組みは、どのように進んだのかしら?



課題 3 について

### 保育施設の巡回相談・指導

これまでの定期的な指導検査に加え、29年度からは事前連絡なしでの施設訪問を含む巡回相談・指導を実施しています。日々の保育の様子を確認し、必要な助言や指導を行うことで保育の質の維持・向上につなげています。

#### ●巡回相談・指導の現場から…

区内保育施設を5人のスタッフ(園長経験者)を中心に巡回しています。お子さんが安全で快適に、そしてのびのびと過ごせるよう、例えば、乳児の食事介助時のスプーンの扱い方や、外遊びのときの保育士の立ち位置といった日常の保育の具体的な注意点についてもアドバイスしています。これからは現場にしっかりと足を運んで、区内の保育環境全体をより良いものにしていく力になっていきたいと思います。



課題 4 について

### 育児休業取得期間に応じた保育所利用調整指数※の加点

育児休業の取得を後押しするため、保育所利用調整指数を見直します。育児休業を取得後、復職する際の加点を新設する一方、認可外保育所利用への加点を段階的に廃止します。また自営業など育児休業制度のない世帯への配慮として、指数の加点を新たに設けます。  
※保育の必要性を点数化したもの。

### 雇用主への労働環境改善に関する意識啓発

乳幼児を育てる保護者が夜遅くまで働くことは、子どもにとっても望ましいことではありません。勤務先での配慮をお願いする意味で、延長保育を申し込む際、雇用主にその必要性についての書類作成を求めました。



#### お知らせ

～区内認可保育所等に入所希望の保護者の方へ～ 10月2日(月)から、30年4月入所の申し込みと相談を受け付けます

受付期間・受付場所については、10月2日(月)から配布する「保育施設利用のご案内」をご覧ください。「保育施設利用のご案内」は保育課(区役所東棟3階)、子どもセンター(区内5カ所)、区内認可保育所(要事前連絡)で配布します。また、区ホームページからもご覧いただけます。

## 区長からのメッセージ

待機児童対策がニュースにならない日はありません。これは待機児童の問題が、単に保育所不足という側面にとどまらず、少子化対策や働き方改革といった国全体の活力維持に関わるテーマだということが、社会の共通認識になったからだと思います。

私は、育休を取りやすい労働環境の整備を国に対して強く働きかけていますが、区としても育休取得を後押しするため、保育所の入所選考の際に、育休を取った方の入所希望が優先される仕組みに変更します。そうすることで育休を取った方の分、保育需要が一定程度抑制でき、育休制度を利用できない方の保育枠の確保にもつながります。

さらに私は、子育て環境の整備には、職場の理解、中でも会社のトップが子育て世帯の働き方にどれだけ理解があるかが重要だと思っています。そこで、今後、延長保育を希望する方には、申請時にどうしてそれが可能な状況なのかを雇用主に直接明記してもらった書面を求めて、

子育て中の皆さんの労働環境改善につなげたいと考えています。私の就任以降、保育所の運営や施設整備等にかかる経費は約3倍にまで増えましたが、今後も保育ニーズは高まりその経費も増加する見込みです。こうした状況を受け、区では「持続可能な行政運営」という視点から、区立保育所の民営化を進めるとともに、これまでの約20年間、抜本的な見直しを行っていなかった保育料の改定に向けた検討を進めています。見直しに向けた考え方は区ホームページでもご覧いただけますので、ぜひご意見をお寄せください。

子育て世帯をみんなで支え、子どもの笑顔と家族の安心、そして明日への活力があふれるまちを創る取り組み。区民の皆さんのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



#### CHECK!

今号でお知らせした内容については、区ホームページにより詳しく掲載しています。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。 杉並区 待機児童解消対策 検索